

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢交流センター運営管理費				
担 当 課 係 名	田沢出張所 課		- 係	作成者	高倉 忠子
総 合 計 画 で の け 位 置 づ け	施策の大綱	共に参加し行動する市民協働のまち			総合計画の ページ
	基本計画	地域づくり活動の推進			
	主要施策	地域づくり活動への支援			104
予 算 費 目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目 財産管理費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市田沢交流センター条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の交流により地域の活性化を図ると共に、公共機関の地域拠点として住民福祉の向上に資するため。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開館日数 目標：条例上の開館日 実績：利用のあった開館日	目標	日	359	359	360	
			実績	日	268	256	265	
			達成度	%	74.7%	71.3%	73.6%	
	成果指標	利用者数	目標					
			実績	人	3,971	3,213	3,593	
			達成度	%				
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,813	6,509	4,477	
	人 件 費 (B)		—		3,141	2,421	1,585	
	職 員 数		—		0.40	0.30	0.20	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				6,954	8,930	6,062	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				6,954	8,930	6,062
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		25,948	34,883	22,875
市民1人当たりのコスト(円)		—		218	284	195		

【事務事業の今までの成果】

田沢の老人達の良い憩いの場になっています。 田沢地区の人達の良い集会場所になっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	畳の部屋が一階にもう一部屋あれば？。老人の集まりに来る交通手段がない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	交流センターがあるから、色々な催し物を市民が計画し人が集まるが、だんだん高齢化が進み交流センターに来ることが出来ない人もいる。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

田沢地区では老人、一人世帯が多く何か催し物があっても来ることが出来ない、ボランティアで乗せてきてくれる人もいますが、何か公共の足となる物があれば。その上でお年寄りの集まる行事を公民館事業と福祉事業で計画出来たら、良い集会場所があるのでもっと活用出来るのでは。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域住民の交流の場として重要な施設であり、引き続き必要と考えられます。

一次評価診断図

